

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成13年度～		
大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
小項目	施策	11	道路
事務事業名	04	県道維持管理事業	
根拠法令・例規等			
担当課(室)	都市整備課		
職・氏名	管理係長・坂本基道		
電話	0869-64-1833		
このシート作成に要した時間	2.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	公共施設利用者
目的(何のために)	地域住民及び企業等の団体が市の支援の下に、清掃美化活動等のボランティア活動を通じて公共施設への愛着心を高めるとともに公共施設利用のマナーの向上を図ることを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	公共施設利用者の清掃やマナー向上を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	岡山アダプト推進事業	県事業の美化活動事業の補助を行う	
	岡山ロードサポート事業	県事業の道路維持事業の補助を行う	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費	千円	0.05人	0.04人	0.08人
	必要人員人件費		624	757	788
決算額	事業費		624	757	788
	国	千円			
	県				
	支出金				
	受益者負担				
繰入金					
市					
その他()					
一般財源		624	757	788	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	アダプト参加団体数	説明	アダプト参加団体数		
	結果指標量	団体	18	20	21
	対前年比	%		111.1%	105.0%
	活動コスト	円	624,000	757,000	788,000
単位当たりコスト		34,667	37,850	37,524	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
平均活動回数	目標値(A)	5	5	5	5	5回
	実績値(B)	5	5	5	5	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	5回
成果指標設定の考え方・式や説明						
活動回数/活動団体						

事務事業の評価		5段階評価(A～E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A～E> D
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A～E> D
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A～E> C
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的、効果や指標を評価し、留意点や目標を抽出

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	団体数の増加がみられており、現状のまま引き続き実施する。						

総合評価		5段階評価(A～E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
当事業は県事業の受付等の事務及び県への進達が主なものであるため、事務事業の効率がよくないが活動団体の利便性はよいものである。	評価区分<A～E>	D	
	妥当性	有効性	効率性

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	制度が定着しており、市の事務量を軽減するのは難しいが、効率を上げるためには制度・申請手続き等の認知度を上げる必要がある。						